

明大国日リサーチ レポート

1年 千葉 瑞斗

私は、大学に入って高校まででは出来なかったことややりたいと思ったことを積極的にやろうと心に決めていたので、このリサーチに興味を持った時には既に参加しようと考えていました。また、自分が好きな音楽のジャンルがマイナーであると考えていたために、他の人たちはどのような音楽を聴いているのかを知りたくなったのも参加した理由の一つです。

私は今回のリサーチで、最も好きなアーティストとその理由は？という質問を担当しました。この質問を通して感じたことは、やはりそれぞれの好きなアーティストやその理由は千差万別であるということです。アンケートにおいてとあるアーティスト以外は一票ずつしか入らなかったのです。このことから、原田先生が発表後のコメントで仰っていたように、今は“1人1ジャンル”の時代であることがよく分かりました。また、それぞれのジャンルにおける好きになった理由には、とある傾向が見られました。バンドを好きだという人の大半は理由で、メロディーやサウンドがキャッチーだからと、音楽の部分を挙げました。それに対し、シンガーソングライターが好きだという人の理由には、歌詞に惹かれるから、歌詞の語彙が好きだからなど、文字の部分が挙げられていました。このことから、アーティストや曲を好きになる理由は人それぞれであることが分かります。さらに、「好きなアーティストはいない。耳にして、いいなと思う曲があったらそれを聴く。」という回答もあり、アーティストに縛られずに音楽を楽しむ人もいて、まさに“1人1ジャンル”であると認識しました。

今回、このように音楽に関するリアルな声を調査して、自分とは別のジャンルの音楽を楽しんでいる方がなぜそのジャンルが好きなのかを知ることができ、今度はその部分に注目してその音楽を聴いてみたいと思いました。また、このリサーチを見てくださった方々にも新たな音楽に触れるきっかけとなったら幸いです。